

平成29年度柏市立柏病院新改革プラン【自己評価】

① 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

「柏市立柏病院新改革プラン」では、千葉県地域医療構想を踏まえ、今後、当院が果たすべき役割を①急性期医療の継続的提供②小児二次救急医療の体制整備③日常的疾患への対応④セーフティネットの医療体制の構築⑤地域包括ケアシステムの構築と定めています。

その役割を担うために本プランの計画年度である平成32年度までの4年間は、準備期間の位置づけとして①高齢化に対応した医療の提供（急性期医療、在宅医療支援）②小児二次医療の体制整備③地域連携促進による安定した医療の提供④感染症対策、災害医療等、医療のセーフティネットとしての医療の提供⑤地域包括ケア病棟及び介護老人保健施設はみんぐの活用による在宅復帰の支援に取り組むこととしています。

その役割を果たしていたかを検証する指標として、「医療機能に係る数値目標」を設定しています。

主な取組みは下記のとおりです。

医療機能等指標に係る数値目標

※数値目標に対する評価 A・・・100以上 B・・・95以上100未満 C・・・95未満（実績値÷目標値×100で積算）

No	【 指 標 】	平成28年度 実績【参考】	平成29年度 計画①	平成29年度 実績②	差 ②-①	取組状況及びコメント	評価
1	延外来患者数（人/年）	148,857	148,000	145,360	△2,640	紹介・逆紹介の推進により、目標値より下回りました。	B
2	延入院患者数（人/年）	50,167	54,750	56,299	1,549	紹介・逆紹介の推進により、目標値を上回る事が出来ました。地域包括ケア病棟だけでなく、全病棟の稼働率が向上しました。	A
3	入院/外来比率（%）	33.7	37.0	38.7	1.7	外来患者数は減少傾向である一方、紹介患者数は増加しており、入院/外来比率を上げる事が出来ました。	A
4	新規外来患者数（人/年）	6,919	7,000	6,427	△573	逆紹介の推進、また、整形外科が原則紹介制となっているため、新規外来患者数は目標値より下回りました。今後は、救急分野で広い範囲から新規患者の増加を図っていきます。	C
5	新規入院患者数（人/年）	3,273	3,500	3,469	△31	目標値に僅かに届きませんでした。今後は、繁忙期のベッドコントロール等、患者の受入れ体制の工夫を講じていきます。	B
6	病床利用率（%）	68.7	75	77.1	2.1	『2』に同じ。	A
7	平均在院日数（日）	15.4	15.6	16.2	0.6	地域包括ケア病棟の活用により目標値より0.6ポイント上昇しました。 一方、急性期病棟は14.9日であったため、引き続き二つの病棟機能をうまく活用し目標値の達成に努めます。	C
8	救急搬送受入件数 （件/年）	1,531	1,500	1,452	△48	夜間帯の救急受入れ件数が減少傾向にあるため、目標値より下回りました。夜間の当番医を、内科系医師と外科系医師の2名体制にするなど、夜間の救急体制の充実を図ります。	B
9	救急車入院件数（件/年）	678	700	679	△21	目標値を下回りましたが、救急搬送者の入院率は前年度の44%から、46%と改善しました。	B
10	手術件数（件/年）	859	1,100	923	△177	鼠経ヘルニアや腹腔鏡下胆嚢摘出など、外科系の手術が減少し、目標値を下回りましたが、整形脊椎手術や眼科白内障手術などが増加傾向にあります。	C
11	紹介患者数（人/年）	4,922	3,900	5,435	1,535	整形外科、循環器内科、放射線科を中心に紹介件数が増加しています。	A
12	逆紹介患者数（人/年）	5,644	4,988	5,856	868	逆紹介を推進し、入院医療中心へとシフトしています。	A

② 経営の効率化と具体的な取組み

本プランでは、経営の効率化に向けた具体的な数値目標を設定し、医師等の人材の確保・育成策や経費削減・抑制対策等に向けて積極的に取り組むこととしております。
主な取組みは下記のとおりです。

経営指標に係る数値目標

※数値目標に対する評価 A・・・100以上 B・・・95以上100未満 C・・・95未満（実績値÷目標値×100で積算）

No	【指標】	平成28年度 実績【参考】	平成29年度 計画①	平成29年度 実績②	差 ②-①	取組状況及びコメント	自己評価
13	経常収支比率 (%)	104.7	102.4	103.7	1.3	病床利用率の向上により入院収益が増加し、目標を上回ることができました。費用面では、人件費や委託費が増加した一方、材料費が減少しました。	A
14	医業収支比率 (%)	101.3	98.7	100.1	1.4	『13』に同じ	A
15	後発医薬品比率 (%) (ジェネリック医薬品)	42.5	55	54.9	△0.1	概ね達成しました。平成30年3月には、使用率が71.8%になり、後発医薬品使用体制加算3を取得しています。今後も、引き続き後発医薬品の導入を推進していきます。	B

医師等の人材確保・育成策

※数値目標に対する評価 A・・・100以上 B・・・95以上100未満 C・・・95未満（実績値÷目標値×100で積算）

No	【指標】	平成28年度 実績【参考】	平成29年度 計画①	平成29年度 実績②	差 ②-①	取組状況及びコメント	自己評価
16	医師数（常勤）（人）	35	36	39	3	大学医局の協力により、計画を上回った人員を確保できました。今後は、診療体制に見合った医師数の確保に努めていきます。	A

※主な取組事項に対する評価 A・・・実施済 B・・・一部実施 C・・・未実施、検討中

No	【主な取組事項】	取組状況	実施内容	課題・検討事項	自己評価
17	医師の業務量軽減のための医療事務専門職（医師事務作業補助者等）の確保	実施済（実施中）	当院では外来及び病棟にクラークを配置しています。また、平成24年4月より医師事務作業補助者も配置し、医師の事務作業負担軽減に努めています。	クラークや医事事務者の教育体制を充実し、更に質をあげていく事が課題となっています。	A
18	医学生や看護学校、薬科大学等の実習生の積極的な受入れ	実施済（実施中）	看護師の実習、薬剤科、検査科、リハビリテーション科、栄養科、総合相談・地域医療支援センターにおいて実習生を受入れ・指導を行っております。平成29年度は、近隣大学等、13の団体から実習生の受入れを行いました。	看護師の実習については、実習に必要なスペース（控室、更衣室等）不足のため、まとまった人数での受入は困難な状況となっています。	B
19	医師の働きに応じた対価の設定	実施済（実施中）	当直を行う医師に対して、当直手当の他に時間外患者受入れ手当を支給しています。	医師職の入院措置に係る特殊勤務手当等の導入等が課題となります。	B
20	寄附講座開設の検討	実施済（実施中）	小児科の入院体制の構築に向けて、寄附講座の設置に係る資金を計画的に積立を行うとともに、関連大学に申請に係る手続きを進めています。	寄附講座を設置し、小児科医医師の確保と小児科の入院体制の構築に取り組んでいきます。	B
21	医師等の交通の利便性向上の検討	実施済（実施中）	病院近隣に借上げ宿舎を用意しているほか、夜間の緊急時の呼出については、タクシー代等、必要な旅費の支給をしています。	夜間の呼び出し等に対してタクシー代の補助を開始しています。	A

民間的経営手法の導入

※主な取組事項に対する評価 A・・・実施済 B・・・一部実施 C・・・未実施, 検討中

No	【主な取組事項】	取組状況	実施内容	課題・検討事項	自己評価
22	組織横断的な経営検討組織の設置	実施済(実施中)	平成28年度から副院長を2名から3名に増員し、管理体制を強化しています。院長副院長会議の議題について幹部職員へ院内メールで伝達し、情報共有を図っています。	医師を始めとした幹部職員も診療の第一線を担当しており、経営の検討や会議への参加が大きな負担となっています。	B
23	経営検討組織による経営方針や経営目標の設定	実施済(実施中)	新改革プランや指定管理者協定書に基づいた目標値を設定しています。	予算執行や新公立改革プランの目標数値の達成状況について進捗管理を行っています。	B
24	医師を始めとする病院職員のモチベーション維持に貢献できる人事考課制度の検討	実施済(実施中)	平成29年度下期の人事評価より、新たに評価項目及び評価点の見直しを行いました。自身が特に力を入れた点等、自己評価の項目を新設しました。	働きや実績に応じた人事考課・給与体系を実現するために年棒制の採用や、負担の多い当直手当や入院手当等一定の条件を満たした場合における積み上げ方式のインセンティブについても再検討する必要があると考えています。	B

事業規模・事業形態の見直し

※主な取組事項に対する評価 A・・・実施済 B・・・一部実施 C・・・未実施, 検討中

No	【主な取組事項】	取組状況	実施内容	課題・検討事項	自己評価
25	入院機能及び小児二次医療へ対応するために必要な常勤小児科医の招聘	実施済(実施中)	大学医局に対し、入院に対応できる条件医師の派遣を要望しました。	平成30年4月に常勤医師が2名増員となりました。小児患者の入院体制づくりと、小児二次救急の充実に向けて協議を進めます。	B
26	ハード面(建物設備や医療機器)での必要要件の検討	実施済(実施中)	①救急外来改修(同時に2台の救急車両を受入れ) ②3階病棟ラウンジリハビリ設備改修(地域包括ケア病棟の機能充実)を実施しました。	平成30年度に、総合入退院支援窓口の改修工事等を予定しています。	B

経費削減・抑制対策

※数値目標に対する評価 A・・・100以上 B・・・95以上100未満 C・・・95未満(実績値÷目標値×100で積算)

No	【指標】	平成28年度実績【参考】	平成29年度計画①	平成29年度実績②	差②-①	自己評価	自己評価
27	後発医薬品比率 (%) (ジェネリック医薬品)	42.5	55	54.9	△0.1	目標数値はほぼ達成しており、平成30年3月単月では、71.8%、30年4月は74%と上昇傾向にあります。	B

※主な取組事項に対する評価 A・・・実施済 B・・・一部実施 C・・・未実施, 検討中

No	【主な取組事項】	取組状況	実施内容	課題・検討事項	自己評価
28	ジェネリック医薬品への切り替え促進、ベンチマークを活用した診療材料の見直し	実施済(実施中)	診療材料については、全国の病院の情報を保有するベンチマーク業者と契約し、市場価格を見ながら定期的に価格見直しを行っています。医薬品についても、自治体病院共済会等のベンチマーク調査に参加し医薬品割引への適正化を図っています。ジェネリック医薬品への切り替えについても薬事委員会において推進を進めており、平成29年度当初の54.5%から、年度末時点では72.5%まで上昇しています。	今後もジェネリック医薬品の使用促進に積極的に努めることとして使用割合を高めています。	A

収入増加・確保対策

※数値目標に対する評価 A・・・100以上 B・・・95以上100未満 C・・・95未満（実績値÷目標値×100で積算）

No	【指標】	平成28年度 実績【参考】	平成29年度 計画①	平成29年度 実績②	差 ②-①	自己評価	自己評価
29	延外来患者数（人/年）	148,857	148,000	145,360	△2,640	『1』に同じ	B
30	延入院患者数（人/年）	50,167	54,750	56,299	1,549	『2』に同じ	A
31	入院/外来比率（%）	33.7	37.0	38.7	1.7	『3』に同じ	A
32	新規外来患者数（人/年）	6,919	7,000	6,427	△573	『4』に同じ	C
33	新規入院患者数 （人/年）	3,273	3,500	3,469	△31	『5』に同じ	B
34	救急搬送受入件数 （件/年）	1,531	1,500	1,452	△48	『8』に同じ	B
35	手術件数（件/年）	859	1,100	923	△177	『10』に同じ	C
36	循環器カテーテル 治療/検査件数 （件/年）	498	515	565	50	対前年比、カテーテルアブレーションは17件増及びPCI治療の実績は22件増と、年々実績は増加しています。	A
37	紹介患者数（人/年）	4,922	3,900	5,435	1,535	『11』に同じ	A
38	逆紹介患者数（人/年）	5,644	4,988	5,856	868	『12』に同じ	A
39	入院診療単価（円）	51,381	51,000	50,492	△508	地域包括ケア病棟の活用や、急性期看護補助体制加算を50対1から75対1へ変更としたことから、計画値より減となりました。	B
40	外来診療単価（円）	19,464	20,000	19,124	△876	外来化学療法患者の減少及び後発医薬品使用促進の影響により薬剤費が減少し、計画値より減となりました。	B

※主な取組事項に対する評価 A・・・実施済 B・・・一部実施 C・・・未実施、検討中

No	【主な取組事項】	取組状況	実施内容	課題・検討事項	自己評価
41	外来診療重視から入院診療重視への転換に向けた検討	実施済（実施中）	地域医療支援センターを中心に紹介入院や後方支援入院の受入れを積極的に実施しており、紹介入院数は28年度は385名で、平成29年度は473名と大きく増加しました。	医師の負担と科目別の入院率や紹介率とのバランスを見ながら、適正な外来患者数の確保が必要と考えます。	B
42	高齢化や地域ニーズに対応した診療機能の充実・強化	実施済（実施中）	地域包括ケア病棟及び在宅療養後方支援病院の届出を行い、高齢化や地域ニーズに可能な体制を構築しています。これにより、急性期病院からのリハビリ入院の受入れやレスパイト入院等の拡充を図っています。	審議会の答申において、今後、高齢者の割合が増加することから、市内における二次医療に係る日常的疾患への対応が求められています。また、柏市が柏市医師会の協力のもと推進してきた在宅医療について、後方支援病院としての立場から貢献していきます。	B
43	地域医療連携機能の強化、紹介・逆紹介の推進	実施済（実施中）	地域医療支援センターに紹介予約センターを設置し、紹介患者並びに紹介元医療機関の利便性向上を図りました。	病診・病病連携によって、各々の医療機関がその機能を十分に発揮しながら相互に連携することで、総合的かつ効果的に患者のニーズに合った医療を提供できるよう取り組んでいます。	B
44	老健施設や居宅介護事業、訪問看護機能等との連携	実施済（実施中）	近隣の介護付有料老人ホームやグループホーム等合計9施設と後方連携契約を締結しました。また、訪問看護機能との連携については、近隣の訪問看護ステーションを訪問し、病院へのニーズの聞き取りを行うなど取り組み中です。	平成30年度より地域医療支援センターに看護師2名を配置し、6名の医療ソーシャルワーカーと共に地域連携業務の強化を図っています。	B
45	個人及び団体未収金の発生防止と回収対策	実施済（実施中）	医事課において未収金対策マニュアルを作り、日時月次の未収金管理及び電話督促を行い、定期的に文書での督促を行っています。また、入院患者については、医療ソーシャルワーカーと情報共有を図り、限度額認定証や生活保護等各種申請等について早期介入し、未収金解消に努めています。	未収金の多くは入院医療費で、当院は入院保証金をとっていないため、対策を講じても未収金が発生しています。また、低所得の高齢者も多く、分割支払いも困難なケースが増加傾向にあります。	A

病床利用率向上のための取組み

※数値目標に対する評価 A・・・100以上 B・・・95以上100未満 C・・・95未満 (実績値÷目標値×100で積算)

No	【指標】	平成28年度 実績【参考】	平成29年度 計画①	平成29年度 実績②	差 ②-①	自己評価	自己評価
46	病床利用率 (%)	68.7	75	77.1	2.1	『6』に同じ	A
47	平均在院日数 (日)	15.4	15.6	16.2	0.6	『7』に同じ	C
48	新規入院患者数 (人/年)	3,273	3,500	3,469	△31	『5』に同じ	B
49	救急搬送受入件数 (件/年)	1,531	1,500	1,452	△48	『8』に同じ	B
50	救急車入院件数 (件/年)	678	700	679	△21	『9』に同じ	B
51	紹介患者数 (人/年)	4,922	3,900	5,435	1,535	『11』に同じ	A

※主な取組事項に対する評価 A・・・実施済 B・・・一部実施 C・・・未実施, 検討中

No	【主な取組事項】	取組状況	実施内容	課題・検討事項	自己評価
52	院内の多職種連携や医師事務作業補助者等の活用による医師の業務負担軽減	実施済 (実施中)	引き続き院内の多職種連携チームとして、ICT (感染対策)、医療安全、NST (栄養サポート)、DCST (糖尿病ケアサポート) の活動を充実させて、患者へのサービスの質の向上並びに医師の負担軽減を図っています。 栄養指導、じょくそう指導、糖尿病ケア指導、服薬指導等については、医師の指示の下、専門職スタッフが連携して行い、医師の負担軽減に貢献しています。	外来診療や当直において、非常勤医師を活用することにより負担軽減を図っていきます。	B
53	他施設や救急隊との連携による救急搬送受入れの強化	実施済 (実施中)	救急ホットラインの受付体制を強化したほか、救急隊との連携を図ることを目的に、救急隊員との救急搬送症例検討会を実施しました。また、近隣の介護付有料老人ホーム等 9 施設と後方連携契約や市内三次病院を含む 2 病院と緊急時受入れの契約を締結しました。	今後も、他施設との連携や救急隊との連携を強化し、受入件数の確保を図るとともに、救急需要への対応に努めていきます。	B

【公益財団法人柏市医療公社】

収支計画 (収益的収支)

(税込み, 単位: 千円, %)

区分	年度	平成29年度		差 ②-①	平成28年度実績 (参考)
		計画 (①)	実績 (②)		
収 入	1. 医 業 収 益 a	5,735,001	5,659,789	▲ 75,212	5,515,146
	(1) 料 金 収 入	5,676,318	5,622,530	▲ 53,788	5,474,938
	(2) そ の 他	58,683	37,259	▲ 21,424	40,208
	うち他会計負担金	0	0	0	0
	2. 医 業 外 収 益	278,539	275,604	▲ 2,935	279,645
	(1) 他会計負担金・補助金	246,574	246,083	▲ 491	241,236
	(2) 国 (県) 補 助 金	0	0	0	0
	(3) 長 期 前 受 金 戻 入	0	0	0	0
	(4) そ の 他	31,965	29,521	▲ 2,444	38,409
	経 常 収 益 (A)	6,013,540	5,935,393	▲ 78,147	5,794,791
支 出	1. 医 業 費 用 b	5,809,857	5,652,492	▲ 157,365	5,450,372
	(1) 職 員 給 与 費 c	2,467,322	2,388,205	▲ 79,117	2,236,387
	(2) 材 料 費	2,336,987	2,249,099	▲ 87,888	2,309,541
	(3) 経 費	799,126	807,241	8,115	701,792
	(4) 減 価 償 却 費	206,422	207,947	1,525	202,652
	(5) そ の 他	0	0	0	0
	2. 医 業 外 費 用	63,109	70,081	6,972	82,848
	(1) 支 払 利 息	2,121	2,121	0	2,704
	(2) そ の 他	60,988	67,960	6,972	80,144
	経 常 費 用 (B)	5,872,966	5,722,573	▲ 150,393	5,533,220
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	140,574	212,820	72,246	261,571	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	3,611	10,514	6,903	1,695
	2. 特 別 損 失 (E)	0	7,483	7,483	9,395
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	3,611	3,031	▲ 580	▲ 7,700
純 損 益 (C)+(F)	144,185	215,851	71,666	253,871	
累 積 欠 損 金 (G)	0	0	0	0	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	102.4	103.7	1.3	104.7	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	98.7	100.1	1.4	101.2	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	43.0	42.2	▲ 0.8	40.5	
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	0	0	0	0	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0	0	0	0	
病 床 利 用 率	75.0	77.1	2.1	68.7	

【柏市】

収支計画 (収益的収支)

(税抜き, 単位: 千円, %)

区分	年度	平成29年度		差 ②-①	平成28年度実績 (参考)
		計画 (①)	実績 (②)		
収 入	1. 医 業 収 益 a	0	0	0	0
	(1) 料 金 収 入	-	-	-	-
	(2) そ の 他	0	0	0	0
	うち他会計負担金	0	0	0	0
	2. 医 業 外 収 益	384,369	368,667	▲ 15,702	386,707
	(1) 他会計負担金・補助金	246,201	229,201	▲ 17,000	233,128
	(2) 国 (県) 補 助 金	0	0	0	0
	(3) 長 期 前 受 金 戻 入	7,530	7,537	7	7,573
	(4) そ の 他	130,638	131,929	1,291	146,006
	経 常 収 益 (A)	384,369	368,667	▲ 15,702	386,707
支 出	1. 医 業 費 用 b	332,265	322,929	▲ 9,336	322,802
	(1) 職 員 給 与 費 c	16,535	11,727	▲ 4,808	12,260
	(2) 材 料 費	0	0	0	0
	(3) 経 費	208,558	206,301	▲ 2,257	206,597
	(4) 減 価 償 却 費	105,172	103,409	▲ 1,763	103,612
	(5) そ の 他	2,000	1,492	▲ 508	333
	2. 医 業 外 費 用	52,104	43,810	▲ 8,294	49,701
	(1) 支 払 利 息	43,811	43,810	▲ 1	49,701
	(2) そ の 他	8,293	0	▲ 8,293	0
	経 常 費 用 (B)	384,369	366,739	▲ 17,630	372,503
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	0	1,928	1,928	14,204	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0	5
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	0
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	0	0	0	5
純 損 益 (C)+(F)	0	1,928	1,928	14,209	
累 積 欠 損 金 (G)	0	0	0	0	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	100.0	100.5	0.5	103.8	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	0	0	0.0	0	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	0	0	0.0	0	
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	0	0	0.0	0	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0	0	0.0	0	
病 床 利 用 率	75.0	77.1	2.1	68.7	

注) 計画数値は予算書を元に作成しているため, 税込み

収支計画（資本的収支）

（税抜き，単位：千円，％）

区分	年度	平成29年度		差②-①	平成28年度実績 (参考)
		計画 (①)	実績 (②)		
収 入	1. 企業債	0	0	0	0
	2. 他会計出資金	102,115	102,115	0	98,188
	3. 他会計負担金	0	0	0	0
	4. 他会計借入金	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0
	6. 国（県）補助金	0	0	0	0
	7. その他	0	0	0	0
	収入計 (a)	102,115	102,115	0	98,188
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	102,115	102,115	0	98,188	
支 出	1. 建設改良費	73,513	33,814	▲ 39,699	20,591
	2. 企業債償還金	153,174	153,173	▲ 1	147,283
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0
	4. その他	3,313	0	▲ 3,313	0
	支出計 (B)	230,000	186,987	▲ 43,013	167,874
差引不足額 (B)-(A) (C)	127,885	84,872	▲ 43,013	69,686	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	73,088	32,588	▲ 40,500	20,251
	2. 利益剰余金処分数額	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0
	4. その他	54,797	52,284	▲ 2,513	49,435
	計 (D)	127,885	84,872	▲ 43,013	69,686
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。（例）千円単位。

一般会計等からの繰入金の見通し

	平成29年度		差②-①	平成28年度実績 (参考)
	計画 (①)	実績 (②)		
収益的収支	(27,600) 246,201	(18,000) 229,201	(▲ 9,600) ▲ 17,000	(8,200) 233,128
資本的収支	(0) 102,115	(0) 102,115	0 0	(0) 98,188
合計	(27,600) 348,316	(18,000) 331,316	(▲ 9,600) ▲ 17,000	(8,200) 331,316

(注)

- () 内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」（総務副大臣通知）に基づき他会計繰入金をいうものであること。